

広 報

# ふじがわ

## 町のメモ

昭和63年1月1日現在	
人口	16,991人
増減	+11人
男	8,375人
女	8,616人
世帯数	4,435世帯
面積	31.09km <sup>2</sup>

1月号

昭和63年1月5日発行 No.318

富士川町 総務課 ☎81-1111  
〒421-33 富士川町岩淵121



目標に向かって  
がんばります (第2中学校マラソン大会)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

# あけまして おめでとうございませす

富士川町長 常葉雅文



昭和63年の輝かしい新春を迎え、謹んで心からお慶びを申し上げます。

昨年の国内外の情勢は、非常に厳しいものであります。特に国政においては「誠実な実行」をキャッチフレーズとしたニューリーダー・竹下内閣が発足し、経済転換を内需主導型に、四全総における多極分散の国土づくり・国民的合意の税制改革との政治課題に取り組み、また県政においても県民の要望の高い社会資本の整備・内

需拡大を含めた円高対策や福祉・文化の拡充などに積極的な対応がなされてきております。

このような諸情勢のなかで町をとりまく環境も非常に厳しいものがありますが、安全で住みよい・健康で清潔・おもいやり・うるおいのある町として産業基盤整備と活性化を重点とした諸施策・事業——第二中学校校舎耐震補強・改築大規模改修工事、消防車の更新及び地震対策関連事業、町道バイパス上町小山線改良工事、地方道路整備原方池野線改良工事、中之郷農免農道、林道の開設、南松野都市下水路、第一公園整備、生活排水対策推進補助、シルバークラスの発足、文化事業の振興、都市計画関係構想調査係を遂行してまいりました。

さて、心新たに新年を迎え、来る二十一世紀を展望できる町づくり、町民のみなさんと共に英知を出しあつて着実にその施策の遂行に努力していく覚悟

であります。

現在、昭和63年度の予算編成作業を進めておりますが、国県の動向を見極めながら財政の健全化を基本姿勢としながらも町民生活の充実と生活環境の整備等のほか、昭和70年を目標とした第二次総合計画での主要事業の推進と町民のみなさんの要望の的確に把握し施策に反映していく積もりであります。

「二年の計は元日にあり」町民のみなさんが恒例となつていらっしゃる「元旦ジョギングの集い」に参加し、親子・家族ともども走ったり、朝起きてそして仕事の区切りに「ラジオ体操・健康体操」を、自らの健康チェックに定期的な健診などの姿に接する時、人はそれぞれみな心身ともに健康でありたいという願望を肌で感じます。

私は「健康な心とからだで住みよい町に」の今年の目標の周知徹底と実践に町民のみなさんと共に積極的に取り組んでまいりたいと思つております。

本年、建設を予定しております「保健センター」、共立蒲原総合病院の「健康診断センター」そして中央公民館、各地区集会所での諸活動が町民のみなさん

んの心身の「健康」に貢献できるものと期待をしております。年頭にあたり、健康で明るいご家庭のご多幸をお祈り申し上げるとともに、富士川身延線バイパスの建設促進、新幹線新富士駅の開駅に伴う広域交通体系の整備促進、新富士川橋の建設促進等の課題の実現に努力してまいりたいと思つております。

本年も

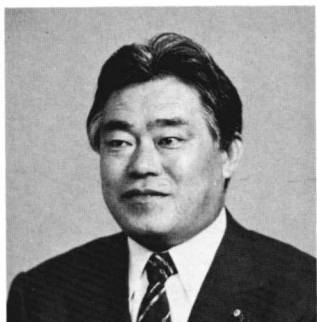
どうぞよろしく  
お願いいたします

- |             |       |
|-------------|-------|
| 助 役         | 大久保芳夫 |
| 収入 役        | 望月 六夫 |
| 教 育 長       | 中村 助次 |
| 総務 課 長      | 丸山 博康 |
| 管理 査 査 課 長  | 大木 靖也 |
| 税 務 課 長     | 斉藤 操  |
| 民 生 課 長     | 斉藤 博  |
| 環 境 衛 生 課 長 | 野口 政義 |
| 建 設 課 長     | 深沢 好己 |
| 産 業 振 興 課 長 | 清 泰二  |
| 水 道 課 長     | 谷津倉章夫 |
| 管 理 査 査 課 長 | 林 勝   |
| 民 生 課 参 事   | 池谷 勲夫 |
| 教 育 課 長     | 池谷 熊夫 |
| 議 会 事 務 局 長 | 佐藤 志郎 |
| 職 員 一 同     |       |

# 議員一丸となつて 町発展に努力します

富士川町議会議員

坪内伸浩



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

富士川町議会を代表して、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

日頃、町議会に対する暖かいご理解、ご協力を賜り厚く感謝しております。

昨年は、統一地方選挙における町議会議員選挙がありました。が、当町においては、無投票当選させていただきました。また、私も全議員の推薦を受け、再び議長に就任させていただきました。早いもので、一昨年十二月

から一年余が経過いたしました。が、議長職の重責をあらためて痛感しております。

しかし、議員各位並びに町当局の皆様のご協力をいただき、順調に議会が運営されておりますことを感謝申し上げます。

ふりかえりますと、国内外において、いくつもの話題がありました。外においては、米ソ首脳によるINF全廃条約の調印や航空機事故があり、内においては、竹下内閣の誕生と税制改革や土地問題、また、県内においては、空港設置問題がありました。当町では、シルバークラスの発足、二中学校耐震補強改

築や上町小山線改良、中野台団地の継続分譲、また身近な問題として、国道一号線富士川橋の拡幅の基礎工事が進められましたが、本年も引続いてこれらの事業や保健センターの建設、富士川身延線バイパスや中之郷農

免農道の促進等の道路整備また、行政改革の推進など諸事業が挙げられます。

また、国一バイパス富士川橋の通行料の無料化や新富士川橋の建設についても、郡議長会や期成同盟会で関係機関に陳情し実現に向けて努力しております。

このように山積みされた諸事業に対し、厳しい財政の中において、私たち議会も議員一丸となつて町当局とともに、積極的に取り組む、町民のみなさんが富士川町を愛し、住みよい町となるよう努力いたしますので、町民憲章にうたわれているように、みなさんの力強いご支援、ご協力をお願いいたします。

今年も一年みなさんにとつてよいお年でありませう、心から祈願いたしまして新年のごあいさついたします。

## 新橋の組立作業



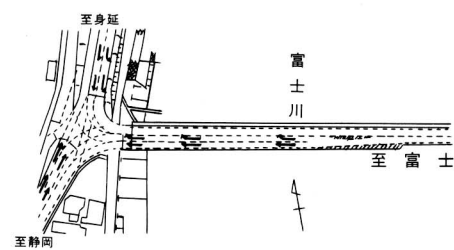
## 富士川橋架替工事

国道一号線富士川橋は、大正十一年四月に国の整備事業として工事を着工し、大正十三年八月十三日から開通されました。工事費は、前後の道路工事を含めると、当時のお金で八百五十万円で、橋面の舗装は、縦横約十五センチ、厚さ十センチの松の木塊を敷き並べたものでした。その数は、十九万二千箇と大変な数でしたが、現在は木塊を取り除き、アスファルト舗装に変わつています。

富士川坂下交差点の朝夕の交通混雑は著しく、交差点改良を行つてこれを解消しようと計画しています。この一環として、富士川橋二径間の右折車線を設けるため、六十一年度から橋梁整備事業が始まつています。

現在、富士川橋二径間の下流側に新橋を建設してありますが、この組立工事が終ると、歩道橋、現橋、新橋の順に組立立てられた軌条桁の上を横移動させ、旧橋を解体し、歩道橋をもとの位置に戻します。この横移動の間、一週間程度富士川橋は交通止になりますので、御協力をお願いいたします。なお、日程につきましては決まり次第「おしらせ広報」でお知らせいたします。

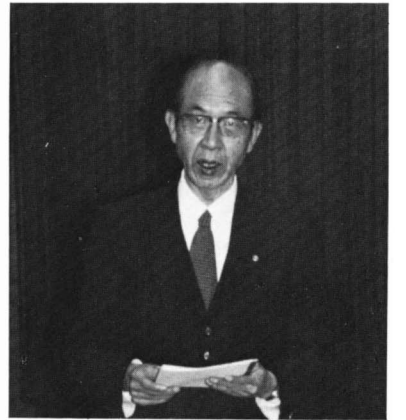
## <完成後の平面図>



12月定例会

体育施設建設基金積立金を中心に  
1億4,285万4千円を補正

一般会計予算は31億3,482万8千円に



町長の一般行政報告

町議会の十二月定例会が、十二月二十二日(火)午前九時から開会され常葉雅文町長の一般行政報告のあと、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、三名の人権擁護委員が一月十五日で任期満了となるため、植松良三氏(舟山町)、深澤勇氏(新町本町)、天野茂氏(南町)の推薦の意見を議会に求めたものです。

◎富士川橋架替及び坂下交差点改良工事

慢性的交通渋滞の緩和を図るべき「富士川橋架替及び坂下交差点改良工事」は、昭和六十一年度より二カ年の継続事業として進められておりますが、現在現橋に側って組立てが行なわれており、工事也大詰めを迎え、来年三月下旬に一週間の通行止をして、架替工事をする事になっております。

工事期間中は、附近の住民の方々、町民の皆様をはじめ、通行車の方々に大変ご迷惑をおかけする事になりますが、格段のご協力をお願いする次第であります。なお、橋架替の際の通行止の日時につきましては、決まり次第、広報等でお知らせいたします。

◎「するがシャトル」の運行計画

広域交通機関としての新幹線「新富士駅」の設置工事も順調に進捗しており、開駅も来る三月十三日と決定しております。この期に、列車ダイヤの改正も行なわれ、東海道本線島田と興津間運行の「するがシャトル」も富士駅まで、上下線併せて三十六本が延長となります。これにより、データタイム二十分間隔が、十分間隔となり、通勤・通学及び日常生活での利便性が増すものと期待をしております。

◎松野地域での工場利用事業計画

中野台への宅地分譲も二年目を迎え、松野地域での新たなまちが形成されつつある時、北松野口和に「新冷間鍛造工場」が静甲株式会社によって着工され、四月一日の操業開始に向けて、着々と工事が進んでおり、また、南松野地先での海洋牧場富士川工場利用事業計画も先般会社側の説明もあり、工場建設工事等は、十二月二十五日頃には完成、操業は年が明け早々にも行いたい。事業の内容は、「木ノ芽(サンショウ)」の栽培であるとの事であり、地域の雇用拡大と活性化への期待が大であります。

◎昭和六十三年 12月の目標は

自らの健康チェックに定期的な検診、朝起きて、また、仕事の合間にラジオ体操や健康体操を。そして、町民のみならずが気軽に、どこでも誰でもできる「町民一人一スポーツの実践」を奨励しておりますが、ことしの目標は引き続き、「健康な心とからだで住みよい町に」と決まりました。

◎昭和六十三年 予算編成方針

現在、昭和六十三年度の予算編成作業を進めておりますが、予算編成にあたっては、国県の動向を見極めながら、財政の健全化を基本姿勢とし、町民生活の充実と生活環境の整備等のほか、昭和七十年を目標とした第二次総合計画での主要事業の推進と町民のみならずの要望を適切に把握し、施策に反映していく所存であります。

可決された提出議案

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 富士川町税条例の全部を改正する条例について
- 富士川町税条例の一部を改正する条例について
- 昭和六十二年度富士川町一般会計補正予算(第三号)について
- 昭和六十二年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)について
- 昭和六十二年度富士川町水道事業会計補正予算(第二号)について
- 国民健康保険制度の改革に関する意見書

一般会計補正予算のおもな内容

- 議会費へ 二十七万四千元
- 総務費へ 九百八十八万円
- 民生費へ 六百三十五万一千円
- 精神障害者医療費助成金ほか衛生費へ 三百五十六万一千円
- 粗大ごみ収集運搬処理業務委託ほか 六十五万三千四百円
- 農林水産業費へ 六十五万三千四百円
- 治山室野山腹工事 六十五万三千四百円
- 施設道愛宕山線開設工事ほか 六十五万三千四百円
- 商工費へ 十六万七千元
- 土木費へ 千二百九十五万二千元
- 岩渕小池下線、富士川駅東口線舗装工事ほか 教育費へ 一億三百三十五万五千円
- 体育施設建設基金積立金 六十五万三千四百円

12月定例会開催風景





# まちの広場

いざという時に備えて

## 地域防災訓練実施

昨年十二月六日(日)午前九時、駿河湾を震源地とする震度六以上の突発型地震発生を想定した「地域防災訓練」が行われました。

当日、小雨の寒い日でしたが、約四千六百人が参加。地震発生と同時に、ガスの元栓閉止、火の始末など家庭内訓練を行った後、各自防災組織ごと訓練会場で、可搬式ポンプ操法、炊き出し、救出救護、避難誘導、初期消火(バケツリレー)などの訓練を、幼児からお年寄りまで、区民一体となり、真剣にできばきと行い、午前中に無事終了しました。



中学生も訓練に参加

## 昭和六十三年の目標

「健康な心とからだに住みよい町に」

昨年十二月十一日(金)、町当局や各種団体の委員が出席し、町のこししの目標実行委員会が開催され、昭和六十三年の目標は、昨年に引き続き「健康な心とからだに住みよい町に」に決まりました。

今後、委員会では、目標実現のために、ポスターを各世帯や各区、公共施設に分配し、「こしの目標」が浸透するように努力していきます。



みんな元気にあいさつを

## 第一中学校でボランティア・フェスティバル

富士川第一中学校(松林隆司校長)で、昨年十二月七日から十七日までの十日間、ボランティア・フェスティバルが開催されました。

この催しは「V・F」の愛称で親しまれ、日常の清掃活動やボランティア活動以外に年三回大々的に宣伝や呼びかけをしてお祭りの形式をとり、大勢の生徒が自主的に参加しています。廊下の壁には、ダンボール集め、カン・ポロ集め、ビン集めなどの希望をつのる張り紙が並び、早朝の正門では、たくさん生徒が一列に並び、「あいさつ運動」が展開されました。

ダンボール集めでは、放課後九十人の生徒が参加。八グルー



ダンボールを束ねる生徒たち

## 富士川駅にキウイの木が



構内に植えられた苗木

富士川町ではキウイ栽培が盛んですが、町の玄関である駅に、何も宣伝するものがないので、小林利夫(富士見町)さんが苗木を寄贈し、昨年十二月十七日に植えられました。錦織駅長は「たいせつに育てて、キウイの町のピアーに努めたい」と話し、上り線ホームに植えられたキウイの木は、五月頃、満開の花を咲かせることでしょう。

## 第二幼稚園・北松野保育園で

楽しい生活発表会が

昨年の十二月五日(土)午前九時から、第二幼稚園で生活発表会が開かれました。この会は、日常保育の成果を土台に、子どもたちと先生がつくり上げた発表の場で、「だれもが主役」ということで、小道具や自分のセリフまで、自分達で作ったり、考えたりしました。

また、北松野保育園でも十二月十二日に開かれ、年長組では自分で劇の配役を選んだり、父兄も積極的に、あやつり人形などの練習をして、この会を盛り上げました。

両会場とも、劇、歌、リズムなど、子どもたちの楽しく、のびのびした発表に、お母さんたちも大きな声援を送り、楽しい一日を過ごしました。



楽器を上手に使って演奏会(第二幼)



おちゃめな小人さんも大活躍(北松野保)

## 農協がもちつきの出張サービス



「べったんべったん」いい音がします

「子どもたちに、きねとうすでのもちつきを」と、富士川農協の職員が、昨年十一月から十二月にかけて、町内の幼稚園と保育園を回りました。持参したもち米は十キロから二十キロ。子どもたちは掛け声をかけたり、おもちをついたり、大喜び。

つき上げられたおもちは、父兄により丸められ、たくさんのおもちが出来上がりました。



松下好璋さん(47歳)(宮町)

## 松上好璋さん 富士山の写真を寄贈

全日本写真連盟などの会員で二十二年間、富士山を撮り続けている松下さんが、個展での富士山の写真十点を寄贈しました。町では、富士山が身近に見ることができない県西部を中心に、富士川町出身の人が入っている身体障害者施設などに、昨年の十二月十七日、寄贈しました。

## 「富士川町授産所を育てる会」創立

障害者福祉週間を目前に控え、十二月六日午後七時から、老人福祉センターにおいて、「富士川町授産所を育てる会」の設立総会が開かれ、この席上で会長に佐藤和亘さん(宮町)が選ばれました。

この会は、昭和六十三年度に建設が予定されている授産施設に対応していくものです。

## 町消防団第一分団に新消防車

中之郷地区を管轄する第一分団に新しく消防車が入り、昨年十二月六日(日)役場前で、町や消防関係者など六十人が参加し、入魂式が行われました。

新しい消防ポンプ車は、今までの消防車が老朽化したため購入されたもので、重さ四ト、自動揚水システムモニターなど、機能・性能は向上しています。

式のと、第一小学校のプールに消防車を移動させ、放水試験を行いました。

## 新しく購入された消防車





# 正しい申告と納税は 正しくお早めに

## 確定申告期間は 2月16日～3月15日

### 所得税

清水税務署  
(☎〇五四三―六六一四一六一)

#### 確定申告を しなければならぬ人

次に該当する人は、必ず確定申告をしてください。

- 事業を営んでいる人や、不動産収入などのある人で、昭和六十二年中の所得の合計額が、基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの所得控除の合計額より多い人
- サラリーマンで、給与の年間収入額が、一千五百万円を超える人、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が、二十万円を超える人、二か所以上から給与の支払いを受けている人、同族会社の役員などで、その法人から給与のほか、貸付金利息や店舗などの賃借料、使用料の支払いを受けている人など。

#### 確定申告すれば 税金が還付される人

別控除が買換えの特例が受けられますが、これも確定申告をしなければ適用されませんから注意してください。

サラリーマンは、普通、確定申告をする必要はありませんが次のような場合は、申告すれば所得税の一部が戻ってくる場合があります。

- 病気やケガなどで、多額の医療費を支払った場合
  - ローンを利用して、住宅を新築したり、購入した場合
  - 年の途中で退職し、再就職しなかった場合
  - 災害や盗難に遭った場合
- 「給与所得者の還付申告用の申告書」は、簡単に記入できるようになっていますから、できるだけ、自分で書いてください。また、医療費の領収書などは、家庭で集計したうえで持参するようにお願いします。(還付申告は、二月十六日以前でも受け付けています)

#### 譲渡所得のある人

このほか、土地や建物売って所得(譲渡所得)があった人は、分離課税用の確定申告書を提出する必要があります。なお、居住用の土地や家屋を売った場合には、三千万円の特

#### にせ税理士にご注意



### 町民税

役場税務課 (☎八二―二二二)

町民税の申告は、所得税の確定申告と同じように、納税者が自分自身で昨年(六十二年)一年間の所得を計算し、申告書に各種の控除とともに記入して、提出してください。

申告しなければ

ならない人

所得税の確定申告書を税務署に提出する人、または収入が給与所得のみで、勤務先から富士川町に「給与支払報告書」が提出されている人は、申告する必要があります。

一般的な人の場合

- 昨年一年間に所得があった人
- 事業専従者控除の適用を受けようとする人

サラリーマンの場合

- 給与所得のほかに「地代、家賃、利子、配当」などの所得がある人
- 一定のところに勤めていない人や、勤め先から給与支払報告書が提出されていない人
- 二か所以上のところから給与をもらった人(年金も含む)

#### 申告相談に必要な書類・持物

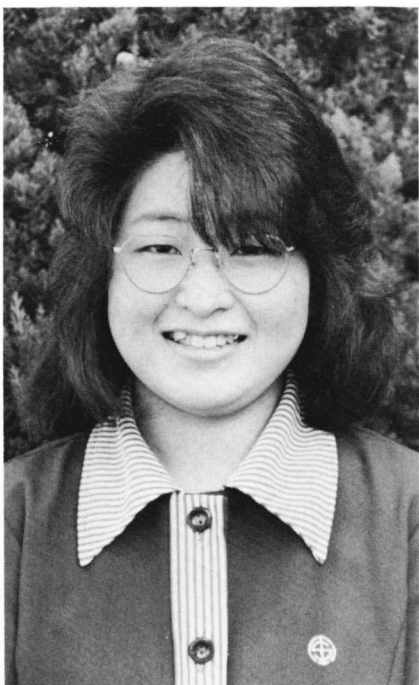
- 印鑑
- 生命保険料控除証明書
- 医療費の領収証書
- 給与の源泉徴収票(日雇・出稼ぎ者で、給与の源泉徴収票のない人は、会社名、期間、収入金額を調べておいてください)
- 営業の人は、収支のわかる関係帳簿

# マドンナ紹介

## 若月 洋子さん (18才)

(塚 町)

白石工業(株)不二工場勤務



若月さんは、高校を卒業してすぐ入社し、現在は仕事にも慣れて、青春時代をエンジョイしています。

趣味はレコード鑑賞と編み物。四月からの給料を貯金して、念願のステレオ・コンポを購入。ポリウムを大きくして稲垣潤一のレコードを聞いている時が、最高に幸せて、心安らぐ時間です。また手編みのセーターにチャレンジ。いつも完成した時は、暖い春になってしまうの

で今回は、この冬に着られるように、がんばっています。

「子どもが好きで、保育さんになったかった。その夢も消えてしまったので、結婚したら、たくさんの子どもに囲まれて、保育園の先生のようなお母さんになりたい。しかし、結婚も早くしたいと思うけど、まだまだ十八才。これから色々な事を体験してみたい」と明るい笑顔で話してくれました。



### 歳時記

## お年玉

まず、お聞きします。あなたはこの正月、お年玉を何人に、いくらあげましたか。またお宅の子供さんは、何人から、いくらもらいましたか?

は、物を贈答する風習があったようです。年玉の語源は「年賜」だという説もあり、丸いもちのこととする見方もあります。

最近では、年始のあいさつの時に「年賀」と書いたタオルやせつけんなどを持参することもありますが、これもお年玉の一種です。今年はこの「お年賀」用に賀詞と名前の入ったテレホンカードも出回っています。



### 12月の交通事故

人身事故	6件(7)	合計	11件(13)
物損事故	5件(6)		
富士川身延線	3件(6)		
国道一号线	3件(2)		
町道	2件(5)		
県道	3件(0)		
その他	0件(0)		

( )は昨年

# 戸籍の窓

S 62・11・15～12・14届出分

(敬称略)

## おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
木島	望月亜耶美	勤一	二女
小山	太田沙織	公久	長女
相生町	鈴木貴人	利久	二男

新町本町	清水 誠	武	二男
幸町	太田 怜奈	英司	長女
南町二	深澤 勇太	充	長男
南町二	坂本 京子	博	三女
八幡町	佐藤 敬太	敬治	長男
清水町	神戸 早紀	明彦	二女
清水町	深澤 美智	正紀	二女
木島	庭野 梅太郎		七四
相生町	丸山 美佐保		六六
舟山町	花田 忠吉		八一
堺町	若月 志ゅん		八〇
川坂	持田 静一		七一
南町二	渡邊 邦雄		三八
南町二	小林 弘光		五七
八幡町	菅野 善二郎		五八

## かなしみ

区名	氏名	年齢
木島	庭野 梅太郎	七四
相生町	丸山 美佐保	六六
舟山町	花田 忠吉	八一
堺町	若月 志ゅん	八〇
川坂	持田 静一	七一
南町二	渡邊 邦雄	三八
南町二	小林 弘光	五七
八幡町	菅野 善二郎	五八

## お母さんの知恵袋

「二時間に一分・一頁」

の換気は冬の習慣に

寒さも本格的。どこの家庭でも暖房機が大活躍のこの頃ですが、昔から健康に良いのは「頭寒足熱」と言われています。でも今は部屋全体が暖かくないと耐えられない人も多いのではないのでしょうか。必要以上に暖房を使っていますか。暖房機と言っても種類も多く、それぞれ違った特徴を持っていますが、上手に使いたいものです。

その一つに石油ファンヒーターがあります。手軽で燃費も安く、温風で部屋全体を暖めるので多く使われているようですが、せっかくな暖まった空気を逃がさないようにと部屋を閉めきったままにしていますか。長時間暖房を続けていると酸素が欠乏してきます。「一時間に一分・一頁ほど窓を開ける」のが理想的です。窓を開けても、元の設定温度に戻るのに、五・六分との実験結果もあります。寒いのは一瞬で、すぐ暖かくなるのです。 婦人会(清)

# 俳句会

〈文協俳句会〉

清水町	白井 滋賀子
ふんわりと山の日和に布団干す	
八幡町	西森 千鶴江
酒れ河原山時ちて暮れにけり	
南町一	望月 美奈子
冬紅葉淡く仕立てて塩昆布茶	
上町	斉藤 つね子
谷住みも楽し温泉のあり紅葉あり	
富士見町	清水 淑子
お食ひ初めの箸に介添え冬麗	
大北町	川崎 麻子
芽台刈りすみて霜除け風車舞ふ	
東町二	望月 喜子
故里はあと駅一つ雪催	
東町二	加藤 京子
風呂吹きのとろり晩酌量増やす	
富士見町	錦織 好江
宅急便小春の縁に届きけり	
八幡町	鈴木 りつ子
鈴成りの柿を置去り過疎の村	
堺町	伊東 才江の
吊し柿むきつつ幼遊ばせり	
八幡町	白井 十世子
まとめたる落葉の上に竹箒	
舟山町	植松 かつ子
歳晩の煙一条国境	
大北町	宇佐 美フク
松手入終えて狭庭に陽の戻る	
富士見町	清水 寿枝
来る年へ母の遺影を拭き終える	

## 一里塚



新年を迎えるに当り、私は毎年決って「今年こそは良い年にしようとか、良い事が有るのでは」という不思議な期待と希望を持って迎えてまいりました。不思議といいましたのは、何もかもうまくいくように考えてしまうからです。しかし、世の中そんなに甘くはないのです。月日が経つにつれ「今年こそは」が「今年も」という、不思議な落胆と変わるのです。

そこで今年、年頭の「今年こそは」という現実を無視して力むのをやめ「笑う門には福来

たる」という精神で、柔和に迎え、明るく一年を過せたら良いと思っています。では何故私がこのようなモットーを打ち出したかといえますと、最近笑いの魔力に気付いたからです。それは、私の経験上、自分が自然に笑っている時は、何となく幸せを感じています。友人と笑っている時は、楽しい時です。逆に笑えない時も有ります。例えば苦しい時、怒る時、悲しい時などですが、そんな時に笑いの魔力を使うのです。使い方は、無理して笑ってみるのです。ただ顔を崩すだけでも良いのです。すると心に余裕ができるので

しょうか必ず気が楽になります。みなさんも一度試してみたいかがですか、福の神が近づ

いて来るかもしれません。それでは今年も明るく元気に頑張りましょう。(雨宮)

## 町への寄付金 (敬称略)

S 62・11・25～12・24  
 十万円 社会福祉事業へ  
 加藤 眞次 (小池)

## 善意銀行へ寄託 (敬称略)

S 62・11・25～12・18  
 五千元 富士川町婦人会茶道部  
 編集後記

先日、こんな話がありました。鈴木富治(南町二)さん所有の道路に面した茶畑が、一部変色しているの、よく見るとおわびの言葉と連絡場所が書かれた立て看板がありました。「お茶を少しだめにしただけでも、こんなに善意の人もいます」と鈴木さんは喜んでいました。